科目名	ファイナンスＢ　　Corporate Finance B						
科目担当者	本田 信雄　　HONDA Nobuo						
単位数	２	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	ファイナンス理論について、その内容について説明し、さらに問題演習を行なう等して理解度を深めるようにしながら講義を進めていく。取り扱う内容としては、ファイナンスＢでは、投資のリターンとリスク、ポートフォリオ、分散投資の効果、資本資産評価モデル(CAPM)、効率市場仮説などを予定している。これらの内容に関する理論説明と問題演習を行なう。						
授業の到達目標	①ファイナンスに関する諸理論の内容を理解する。 ②例題・問題演習などを通して、現実社会におけるその適用可能性について理解する。						

授業計画・内容		
	1	講義内容の概説
	2	投資のリターンとリスク(1)－リターンとリスクの捉え方、リスクの概念とその重要性
	3	投資のリターンとリスク(2)－リターンの計算方法
	4	投資のリターンとリスク(3)－リスクの計算方法
	5	投資のリターンとリスク(4)－問題演習
	6	ポートフォリオにおけるリターンとリスク、分散投資
	7	分散投資の効果(1)－ポートフォリオのリターンとリスクの計算方法
	8	分散投資の効果(2)－期待値・標準偏差分析
	9	分散投資の効果(3)－ポートフォリオ選択
	10	資本資産評価モデル(CAPM)(1)－基本概念とその考え方
	11	資本資産評価モデル(CAPM)(2)－問題演習
	12	ポートフォリオ理論の実用化と市場環境の変化(1)－市場の機関化・効率化、敗者のゲーム論
	13	ポートフォリオ理論の実用化と市場環境の変化(2)－敗者のゲーム論とインデックス・ファンド
	14	効率市場仮説(1)－効率市場とは、効率市場仮説およびその検定例
	15	効率市場仮説(2)－検定例およびその反証、まとめ

授業外学修 (事前学修)	配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく　(毎週 2 時間)
授業外学修 (事後学修)	配布資料・講義内容ノートに目を通し、課題実施に備えておく(毎週 2 時間)

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	後期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)	50% 50%	①② ①②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	必要に応じて資料を配布する。
参考文献	なし
その他	この「ファイナンス B」を履修する前に、「ファイナンス A」を履修済みであることが望ましい。